

# 売上管理データベース ご提案書

Ver 1.0 2013年12月17日

Teruhisa Yonezawa

可能ならば最新版のOSと現行データベースの最新版Accessへ移行。  
また、新たにデータベースを作り直す場合と移行の場合のコスト比較。  
新規の場合、Accessではなく、汎用のSQLベースのサーバを置き、Webブラウザ  
等で入出力業務が行えるような新たなアプローチのソリューション

### 求められる施策：

情報活用力を強化して、業務プロセスの最適化を計る  
リアルタイムなデータ情報の一元管理及び共有化できる仕組み  
いち早く状況変化を察知し、判断を行うことができるシステム環境作り

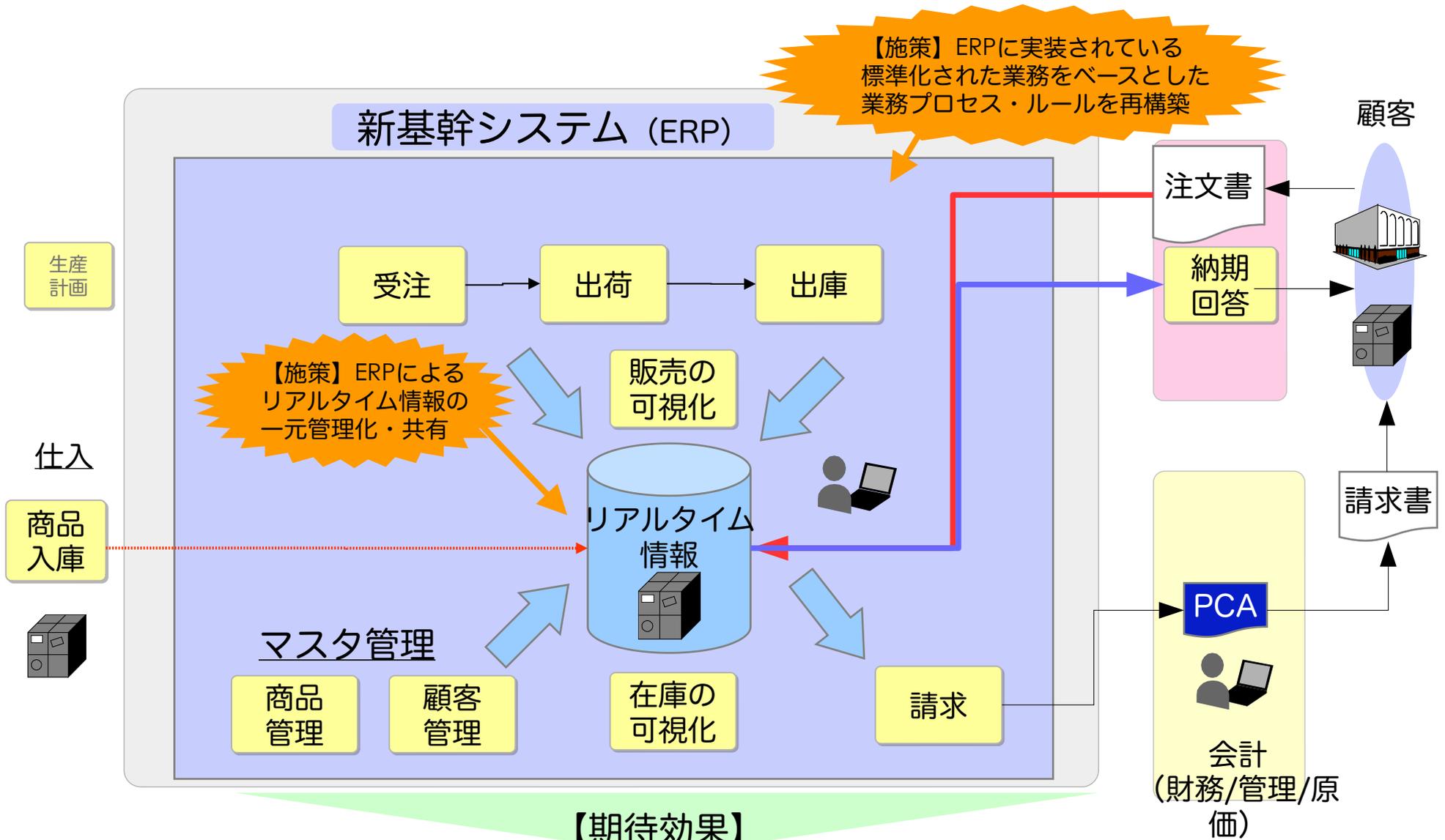
### 求められる期待効果：

業務の最適化、スムーズな業務間の連携 ⇒ 少数精鋭、Low cost operation  
経営上の意思決定への迅速化と共有化 ⇒ 変化対応  
情報の精度向上と可視化 ⇒ データの整合性  
業務の属人化の排除 ⇒ simple is best、標準、統一、簡単～

### 今回対象となるもの：

第一段階として現行システムの整備  
新基幹システムのベースを計画

# 新基幹システムイメージ



業務の最適化/効率化  
スムーズな部門間連携

経営上の意思決定への  
迅速化と可視化

情報の精度向上  
と可視化

業務の属人化の排除

- 調達依頼の登録及び管理（依頼残管理）
- 購買発注の登録及び管理（発注残管理）
- 品目（資材、商品、設備等）の台帳管理
- 仕入先、得意先の顧客管理
- 倉庫の商品管理及び在庫管理（在庫の見える化）
- 受注～出荷までの情報管理
- 受注時の在庫引当、受注登録（受注管理）
- 倉庫間での在庫移動データの管理（積送管理）

# ソリューション検討

第二段階

第一段階

	Office365で開発	Webサーバー構築	Access2013へ移行	Access2003へ移行
開発費用	データの移行は発生するがWebサーバー構築よりは安価である	Webサーバー構築費用とプログラム開発に工数とスキルが必要でありその分費用もかかる	移行費用はやってみないとわからないが、Access2003以上かかる	移行費用は不具合が多発するのでやってみないとわからない
開発期間	移行より開発期間はかかるが、開発しやすいのでWebサーバー構築より短くなる	Webサーバー構築期間とプログラム開発に工数が必要なので時間がかかる	移行期間はやってみないとわからないが、Access2003以上でTry and Errorが予想される	移行期間は不具合が多発するのでやってみないとわからない
運用コスト	Office365導入により運用コストが軽減できる	Webサーバーの監視が必要となるので外部に依頼する場合、保守費用が発生する	最新版OSの導入が必要となる	現状どうりだが、サポート終了時に同じ問題が発生する
システム運用	電話及びメールで無償対応のサポート	Webサーバーとデータベースの監視スキルが必要となる	データの整合性がとれていないことがある	データの整合性がとれていないことがある
操作性	十数年来の使い慣れた環境である	Accessのような操作性はコストがかかるので無理である	十数年来の使い慣れた環境である。	十数年来の使い慣れた環境である。
拡張性	Office365の範囲内ではしか拡張できないがOffice最新版が使える	Webサーバー上にマルチサイト、各種サーバー等が構築できる	Accessデータベースの範囲内ではしか拡張できない。	Access 2003が、2014年4月でサポート終了となる。
データベース	AccessアプリのバックエンドデータベースがSQL Serverとしてアクセスできるようになる	Postgres, MySQL等のフリーデータベースが利用でき、レスポンス及び負荷に対応できる	レコード件数が多いと負荷が大きくなるWeb対応できない	レコード件数が多いと負荷が大きくなるWeb対応できない
Web対応	Webアプリで開発すればブラウザからも入力できる	Web上にサーバー構築できるのでブラウザからアクセスできる	LANで繋がったパソコンでしか操作できない	LANで繋がったパソコンでしか操作できない



バックエンドDB  
Access95  
WindowsXP(32,64)

社内LAN環境

フロントエンドDB  
Access95  
WindowsXP(32,64)

バックエンドDB  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

社内LAN環境

フロントエンドDB  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

バックエンドDB  
SQL Server Azure  
クラウド(Office365)

Web環境

フロントエンドDB  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

バックエンドDB  
MySQL,Postgres  
Linux(CentOS6)

Web環境

フロントエンド  
Webアプリ  
Windows8,MAC



SQL Server Native Client  
(X86 Version)



Connector/ODBC  
(X86-32bit Unicode driver)

バックエンドDB  
MySQL,Postgres  
Linux(CentOS6)

Web環境

フロントエンドDB  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)





サーバー側  
Access95(32bit)  
WindowsXP(32bit)

社内LAN環境

クライアント側  
Access95(32bit)  
WindowsXP(32bit)

サーバー側  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

社内LAN環境

クライアント側  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

クラウド側  
SQL Server Azure  
Windows Azure(utf8)

ODBC  
SQL Server Native Client  
(X64 Version)

クライアント側  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)

VPSサーバー側  
MySQL,Postgres(utf8/64bit)  
Linux(utf8/64bit)

Tomcat/Jboss  
php/java  
objectC

クライアント側  
Webアプリ  
Windows8/MAC



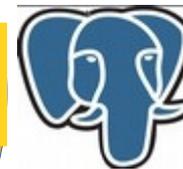
クライアント側  
Accdb Backup



VPSサーバー側  
MySQL,Postgres(utf8/64bit)  
Linux(utf8/64bit)

Connector/ODBC  
(X86-32bit Unicode driver)

クライアント側  
Access2013(32bit)  
Windows8(64bit)



PostgreSQL  
the world's most advanced open source database



# Office2003のサポート終了=> 2014年 4月 8日

## Office 2003 のサポート終了

Office 2003 製品のサポートが 2014 年 4 月 8 日に終了します。

この日を最後に Office 2003 製品では以下の提供が終了します。

- サポート プログラム
- オンラインのコンテンツ アップデート
- Microsoft Update によるソフトウェアの更新プログラム

更新プログラムには、個人情報盗む可能性のある有害なウイルス、スパイウェア、およびその他の悪意のあるソフトウェアから PC を保護するためのセキュリティ更新プログラムが含まれます。

この日以降も Office 2003 は起動して動作しますが、引き続きサポートと更新プログラムを取得するには新しいバージョンの Office にアップグレードしてください。

メモ 組織で Office 2003 を使用している場合、詳細については、「Windows XP および、Office 2003 のサポート終了についてのご案内」をご覧ください。

### Office のバージョンを確認する方法

使用している Office のバージョンを確認するには、この記事の「使用している Office のバージョンを知る方法」をご覧ください。

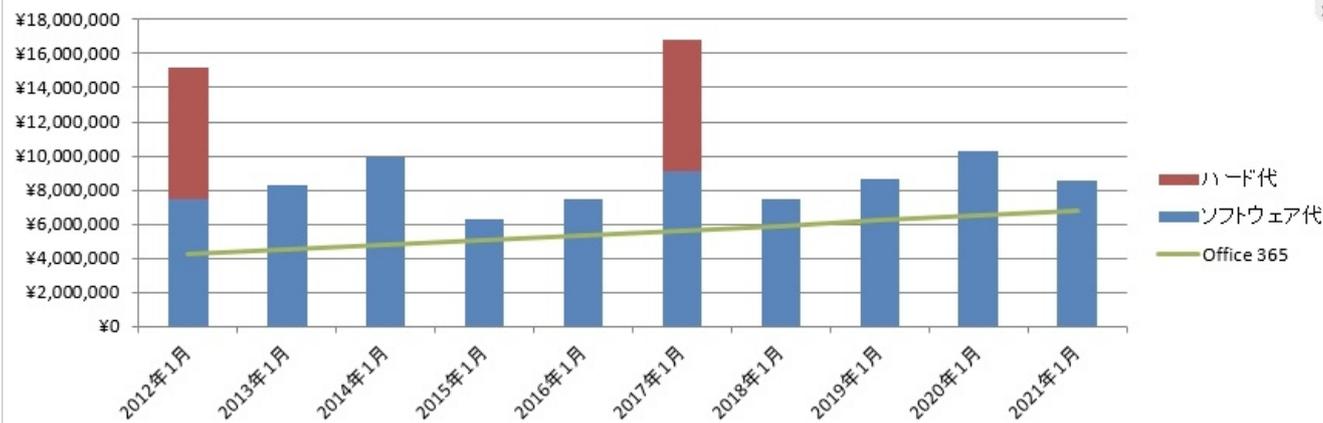
### 詳細なサポート ライフサイクル情報

これらのバージョンの Office のサポート ライフサイクルの詳細については、Microsoft のサポート ライフサイクルの Web ページをご覧ください。

サポート ポリシーの詳細については、Microsoft サポート ライフサイクル ポリシー FAQ をご覧ください。

メモ Windows XP SP3 のサポートも 2014 年 4 月 8 日に終了します。詳細については、一部のバージョンの Windows のサポート終了に関するページをご覧ください。

# 参考：自社運用とOffice365導入コスト比較



オンプレミス環境の場合電気代や管理費用、サーバーを設置する場所代など目には見えづらいコストも上乘せされます。図の特徴として一時的に出る費用がずば抜けて高いか、契約中は他のクラウドサービス同様に一定のコストが計上されるかの違いが一目で分かります。また、よく話題に上がることですが、オンプレミスの場合は資産となり、減価償却計算なども必要となってきます。そのため、必要なだけ契約して社内にモノが存在しないクラウドサービスは、経費としてのみ考えることになる

Office 365導入はIT管理者の仕事を削減します。IT管理者から見た場合

- 1) 利用者に応じたサーバーのサイジング計画やサーバーリプレース計画や作業が不要。
- 2) サーバー自体のメンテナンス不要
- 3) 各サービスのバックアップ不要
- 4) Office製品のライセンス管理不要
- 5) 高品質のサービスリクエストが利用可能

# Office365料金全プラン

	小規模向け		中規模向け	あらゆる規模向け			
関連項目	Office 365 Small Business	Office 365 Small Business Premium	Office 365 Midsize Business	ホストされる電子メール (Exchange Online プラン 1)	Office 365 Enterprise E1	Office 365 Enterprise E3	Office 365 Enterprise E4
Office 365 ProPlus 教育プラン							
行政機関プラン							
非営利団体向けのプラン							
よく寄せられる質問 (FAQ)							
家庭向け Office							
価格には消費税は含まれていません。							
最大ユーザー数:	25	25	300	無制限	無制限	無制限	無制限
Office アプリケーション: Office サブスクリプションでは、各ユーザーが5台までの PC または Mac を使用できま		デスクトップバージョン:	デスクトップバージョン:			デスクトップバージョン:	デスクトップバージョン:

# Office365料金プラン

Office 365は利用料金さえ支払えばメール並びに電話でのテクニカルサポートを得られます。追加費用は発生しません。このテクニカルサポートは何件利用しても無償であるため、IT管理者にとって非常に心強い味方となるでしょう。

## Office 365 のすべての一般法人向けプランを選択

	中小規模向け	あらゆる規模向け	
関連項目 すべてのプランを比較する Office 365 ProPlus 教育プラン 行政機関プラン 非営利団体向けのプラン 家庭向け Office よく寄せられる質問 (FAQ)	Office 365 Small Business	Office 365 Small Business Premium	Office 365 Midsize Business
価格には消費税は含まれていません。	¥410 ユーザー/月 年間一括前払い ¥4,920	¥1,030 ユーザー/月 年間一括前払い ¥12,360	¥1,230 ユーザー/月 年間契約
	今すぐ購入 または ¥490 ユーザー/毎月の請求	今すぐ購入 無料体験 または ¥1,250 ユーザー/毎月の請求	今すぐ購入 無料体験

ご注意: Small Business プランを Office 365 Midsize Business と組み合わせることはできません。<sup>1</sup>

# 管理者ダッシュボード

 <b>電子メール アドレス:</b> Office 365 電子メールをカスタマイズして @yourcompany.com を使用する	 <b>グループ作業</b> Office Web Apps、SkyDrive Pro、サイトをを使用してドキュメントの作成と共有ができます。	 <b>一般向け Web サイト</b> 独自のプロフェッショナルなオンラインプレゼンスを作成できます。	  <b>Office</b> Office やその他のデスクトップ アプリ、電話アプリ、タブレット アプリの最新バージョンをダウンロードできます。  [はじめに] ウィンドウを非表示にする
---	--	---	---

Green

## 組織の管理

### サービス設定

組織全体の設定を管理

### ユーザーとグループ

ユーザーの追加、パスワードのリセットなど

### ライセンス

ライセンスの管理と購入

### ドメイン

Web サイトと電子メールのドメインの管理

### サービスの状態

サービスの正常性と保守の追跡

### サポート

ヘルプとオンライン サポートの利用

### Web サイト

一般向け Web サイトを管理する

### メッセージセンター

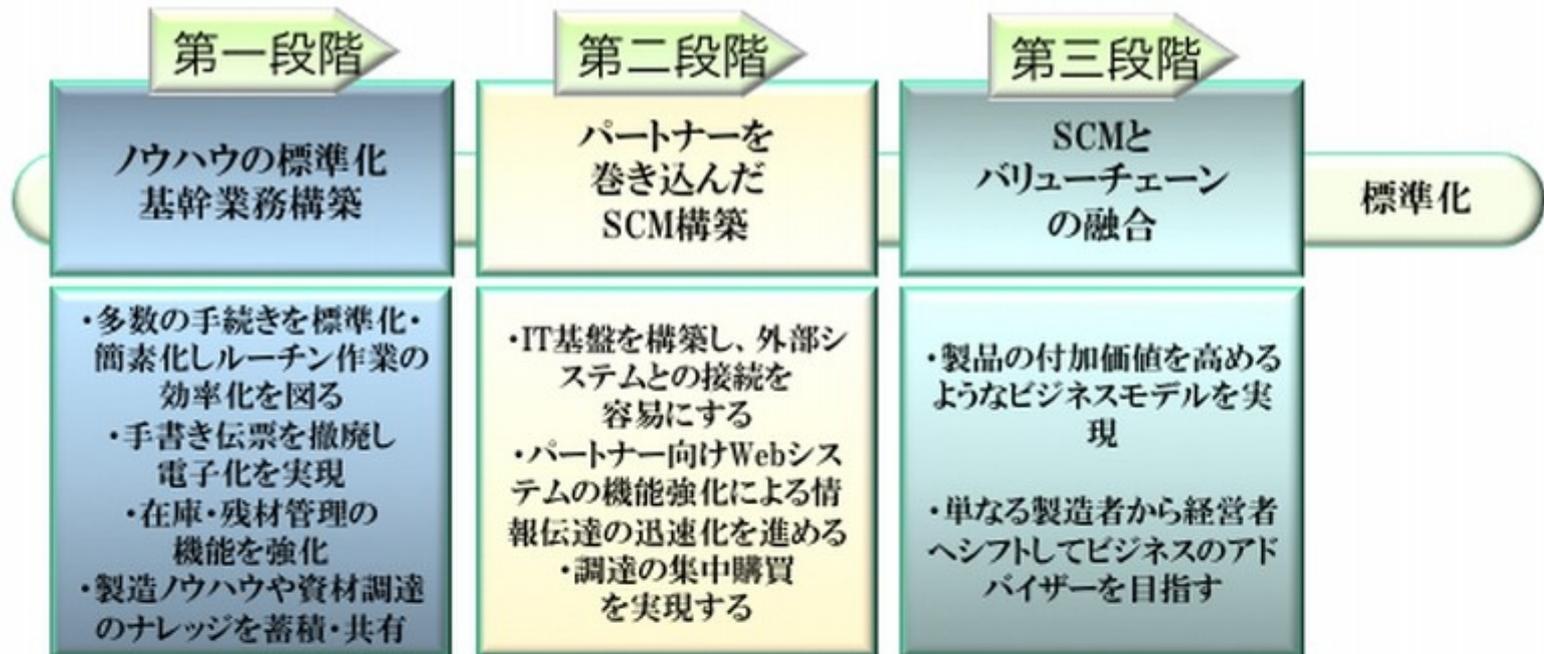
今後のサービス変更を読んで計画する

# Webサイト ホームページ

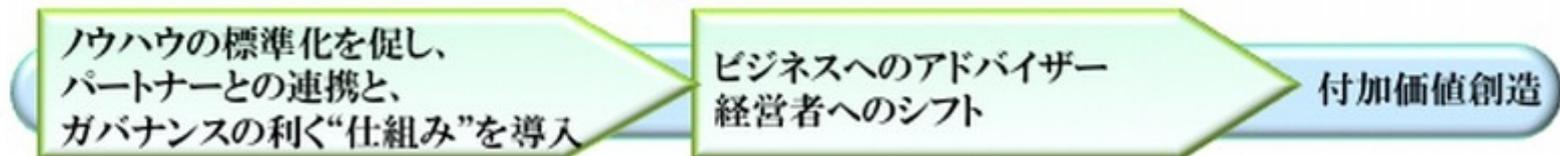


The screenshot shows a web browser window displaying a SharePoint public website. The browser tabs include 'ホーム', 'サイトの設定', and '一般法人向け Office 365'. The address bar shows 'https://greenapple-public.sharepoint.com'. The page header features the Office 365 logo and navigation links for Outlook, 予定表, People, ニュースフィード, SkyDrive, サイト, and 管理者. The user name '米澤照久' is visible. Below the header, there are links for 参照, ページ, and サイト, along with options for 共有 and WEB サイトをオフラインにする. The main content area has a blue header with the SharePoint logo and the title 'Web サイトのタイトル'. Navigation links include ホーム, 会社紹介, お問い合わせ, 交通案内, ブログ, and リンクの編集. There is a search box with the text '検索-'. The main body contains a white box with the following text: 'これは Web サイトのホーム ページであり、インターネットでこの Web サイトを閲覧するユーザーに対して最初に表示されます。ここにはテキストや画像など興味をひくコンテンツを載せ、サイトで最も魅力的なページになるようにします。ここでは会社の業務内容、製品やサービスを紹介し、Web サイトの他のページに詳しい内容を掲載します。パブリック Web サイトの使い方については、こちらをご覧ください。' At the bottom, there is a footer area with the text: 'このエリアを使って、フッターの内容を追加します。フッターはすべてのページに表示されます。'

## ビジネス改善目標



## 対応の方向性



「ビジネス構築」プロジェクトは、標準化されたビジネスの再設計と付加価値の創出へのチャレンジと理解しています。

今回推奨

	ADempiere	SAP Oracle JDE	国産業務別パッケージ	カスタム開発
経営状況の迅速な把握と開示	○ リアルタイムにデータが反映される (バッチ処理も可能)	▲ リアルタイム性はSAPに比して弱い	▲ リアルタイム性はSAPに比して弱い	▲ リアルタイム性を確保するためのシステム設計は非常に困難
共通化・標準化された業務・システム基盤	○ 基本機能は提供されているが、業務標準化にはテンプレートが必要	○ 基本機能は提供されているが、業務標準化にはテンプレートが必要	▲ ベースが異なる個別パッケージの組合せのため共通化の面で弱い	✗ 全社基幹業務を一から設計し構築することは非常に困難
データの一元管理	○ データ正規化が優れており、IFact-IPlaceが高度に実現されている	▲ モジュール間がバッチ連携のため、明細調査力はSAPに比して弱い	✗ ベースが異なる個別パッケージの組合せが多く一元管理力は弱い	▲ データ一元性を確保するためのシステム設計は非常に困難
システム運用 上段：内部運用 下段：外部運用	▲ 内部構造が分かりにくい ため習熟には時間を要する	○ 内部構造はSAPに比して習熟しやすい	▲ 内部構造非公開が多い	✗ 設計・開発者を継続して維持することは困難
	○ 外部技術者は非常に多く アウトソースしやすい	▲ 外部技術者の安定確保には懸念	✗ 提供元などの特定ベンダ依存となる	✗ あくまで自社運用者としての確保が必要
開発期間・コスト	▲ 全てを置換えようとせず、ERPが適合する領域にはめ込むことで期間・コストは大幅に圧縮可	○ SAPよりも機能が簡易なため、少ない開発要員でデリバリ可能なケースが多い	○ 単純かつ小規模むけならば短期で安価、大規模には向かない	✗ 段階的開発となるため、長期かつ高価になる傾向強い
海外展開	○ 多言語・多通貨対応	○ 多言語・多通貨対応	✗ 個別パッケージの組合せが多いため、完全対応とはいえない	✗ システム設計・開発の負荷は大きい
法改正対応	✗ 法改正対応を都度自社で保守することは非常に負荷が大きい	▲ 法改正への対応力はSAPに比して劣る場合もあり	▲ 国内向け対応はSAPと同等だが海外要件対応力が不足	✗ 法改正対応を都度自社で保守することは非常に負荷が大きい

## Linux CentOS6.2

	メモリ 1GBプラン	メモリ 2GBプラン	メモリ 4GBプラン	メモリ 8GBプラン	メモリ 16GBプラン
初期費用	無料	1,680円 期間限定！ 今なら0円！	5,680円	9,681円	16,680円
月額費用 (1ヶ月払い)	940円	1,380円	3,880円	7,880円	15,880円
月額費用 (年間一括払い)	9,999円 (833円/月)	13,846円 (1,153円/月)	38,918円 (3,243円/月)	79,027円 (6,585円/月)	159,248円 (13,271円/月)
CPU	2コア	3コア	4コア	6コア	10コア
メモリ	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
HDD	100GB	200GB	400GB	800GB	1TB

## Windows Server2012

	メモリ 1GBプラン	メモリ 2GBプラン	メモリ 4GBプラン	メモリ 8GBプラン	メモリ 16GBプラン
初期費用	無料	1,680円	5,680円	9,681円	16,680円
月額費用 (1ヶ月払い)	1,940円	3,580円	5,880円	9,880円	17,880円
月額費用 (年間一括払い)	20,760円 (1,730円/月)	35,880円 (2,990円/月)	58,920円 (4,910円/月)	99,072円 (8,256円/月)	179,304円 (14,942円/月)
CPU	2コア	3コア	4コア	6コア	10コア
メモリ	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB
HDD	100GB	200GB	400GB	800GB	1TB

Web  
サーバー構築

お名前.com  
VPSプラン